招　請

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和４年８月12日

国立大学法人滋賀医科大学長　上本　伸二

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　25

○第６号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　22、31

⑵　導入計画及び数量

手術支援ナビゲーションシステム　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期

令和５年度３月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

詳細は導入説明書による

2　資料及びコメントの提出方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提出期限　令和４年９月27日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒520―2192 大津市瀬田月輪町　滋賀医科大学病院経営戦略課病院調達係　小林　耕太　電話077―548―2039

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　令和４年８月12日から令和４年９月27日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　説明会の開催　本公表に基づく導入説明会を開催する。

⑴　開催日時　令和４年８月19日13時30分

⑵　開催場所　滋賀医科大学医学部附属病院第三会議室

5　その他　この導入計画の詳細は導入説明書による。なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

6　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Surgical support navigation System 1 Set

⑶　Type of the procurement : Purchase

⑷　Basic requirements of the procurement : Refer to the instructions for detail

⑸　Time limit for the submission of the requested material : 17 : 00　27 September, 2022

⑹　Contact point for the notice : Kouta Kobayashi, Procurement Section, Management Strategy of Hospital Division, Shiga University of Medical Science, Setatsukinowa-cho Otsu-shi 520―2192 Japan, TEL 077―548―2039

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

令和４年８月12日

国立大学法人京都大学長　湊　　長博

◎調達機関番号　415　◎所在地番号　26

○第３号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量

スーパーコンピュータシステム　一式

⑶　調達方法　借入

⑷　導入予定時期　令和５年度１月以降

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

A　今回導入予定のスーパーコンピュータシステムは、現在使用しているスーパーコンピュータシステムを次世代の計算化学・ゲノム科学に対応すべく拡張するものであり、以下の構成を要する。システムはゲノムネット計算サーバ、化学計算サーバ、ログインサーバ、ゲノムネット公開サーバ、ゲノムネット開発サーバ、基盤サーバ、システム管理サーバからなる７つのサーバ群と、高速アクセス用分散ファイルシステム、大容量ネットワークファイルシステムからなる２つのネットワークディスク装置、ディザスターリカバリー用バックアップストレージ、ネットワーク装置、無停電電源装置、冷却設備で構成される。システムはLinux環境で運用され、以下に示す全ての要件を満たす。

B　ゲノムネット計算サーバは、２ノード以上からなるシステムＡと60ノード以上からなるシステムＢで構成される。

⒜　システムＡの各ノードは、理論演算性能は57.1TFLOPS以上であり、共有メモリ方式で24TiB以上の主記憶容量を備えていること。また、NVM Express規格のＳＳＤを50TB以上有すること。

⒝　システムＢの各ノードは、56以上のＣＰＵコアを有し、理論演算性能が4.00TFLOPS以上であること。システムＢはノードあたり512GiB以上の主記憶容量を備えた40以上のノード、及びノードあたり１TiB以上の主記憶容量を備えた20以上のノードから構成されること。

⒞　システムＡ、Ｂともに、計算生物学関連、特にゲノム解析関連のソフトウェアが整備されていること。

C　化学計算サーバは、44ノード以上からなるシステムＡと36ノード以上からなるシステムＢで構成される。

⒜　システムＡ、Ｂの各ノードは、56以上のＣＰＵコアを有し、理論演算性能が4.00TFLOPS以上であること。256GiB以上の主記憶容量を備えていること。

⒝　システムＢの各ノードは、NVIDIA A100（80GBメモリ）相当以上のＧＰＵを１式以上備えていること。Cudaライブラリが使えること。

⒞　システムＡ、Ｂともに、計算化学関連のソフトウェアが整備されていること。

D　ログインサーバは３ノード以上からなり、１ノードあたり16以上のＣＰＵコアを有し、理論演算性能が3.10TFLOPS以上であり、512GiB以上の主記憶容量を備えていること。各ノードは、NVIDIA A100（80GBメモリ）相当以上のＧＰＵを１式以上備えていること。Cudaライブラリが使えること。

E　ゲノムネット公開サーバは６ノード以上からなり、各ノードは64以上のＣＰＵコアを有し、768GiB以上の主記憶容量を備えていること。

F　ゲノムネット開発サーバは４ノード以上からなり、各ノードは64以上のＣＰＵコアを有し、1.5TiB以上の主記憶容量を備えていること。

G　基盤サーバは15ノード以上で構成される。

⒜　開発サーバ：64以上のＣＰＵコアを有し、1.0TiB以上の主記憶容量を有するノードを２ノード以上備えること。

⒝　データベースサーバ：16以上のＣＰＵコアを有し、256GiB以上の主記憶容量を有するノードを２ノード以上備えること。各コアは3.6GHz以上で動作すること。リレーショナルデータベースシステムを提供すること。

⒞　仮想サーバ：32以上のＣＰＵコアを有し、512GiB以上の主記憶容量を有するノードを２ノード以上備えること。本学が指定するゲノムネットサービスの一部（GenomeNet／Feedback、varDB等）を動作させること。

⒟　運用管理サーバＡ：32以上のＣＰＵコアを有し、256GiB以上の主記憶容量を有するノードを３ノード以上備えること。

⒠　運用管理サーバＢ：32以上のＣＰＵコアを有し、512GiB以上の主記憶容量を有するノードを６ノード以上備えること。ネームサーバ、メールサーバ、ウェブサーバとしての機能を備えること。

H　システム管理サーバは２ノード以上からなり、各ノードは24以上のＣＰＵコアを有し、128GiB以上の主記憶容量を備えていること。

I　７つのサーバ群において、Linuxオペレーティングシステムが動作すること。

J　ゲノムネット計算サーバ、化学計算サーバ、ログインサーバにおいて、Fortran、Ｃ、Ｃ＋＋などのプログラミング言語が処理可能であり、自動並列化機能、OpenMP規格4.0に準拠した並列化機能を有すること。ＭＰＩ3.0以上に準拠したライブラリを有し、複数ノードによるＭＰＩ並列計算が可能であること。

K　ＧＰＵ搭載ノードにおいては、ＧＰＵに最適化されたプログラミング言語が処理可能であること。